Kusa:(11
Uchitate
3 vols.
へ 13
3823

門へ13

二代巡礼再度雙紙 奉打札所拙言序　曲亭馬琴撰

去歳林鍾予偏舟小棹して墨水の濱よ納涼せ。夏日漸向暮さて。浅草寺の鐘帰路を促せり。遂小舟を蓬陸と走て。行金龍山下よ到る。時よ滑董店上よ個小冊あるを見る。廼買得て携帰り。更ふこれを校正し。画者よ就て繪像を。次第に曽復雑言の小説頗稚蒙の爲よ賞せらるこ。ものども寸楮の冊子。詰を成し。文と下さふ。ふさはしからぬ也。予敢て。これらのあらを記さふ心なしといへども。書肆の懇默止がたく。さるくちの笑角あり。閲者覆將醤の着とおもふものやうれといふことを。

文化二年乙丑の春子血著作堂よ題す

雨のひきやいつよりよみつゝつきざあんで日の
さめねやうよ金をひろ
たくるゝりくゝろめあか
あわがるる
せうち
えたや
もとのくゝ
もとろめへを
あるはな
ねざう
そうくる

田くさ十一

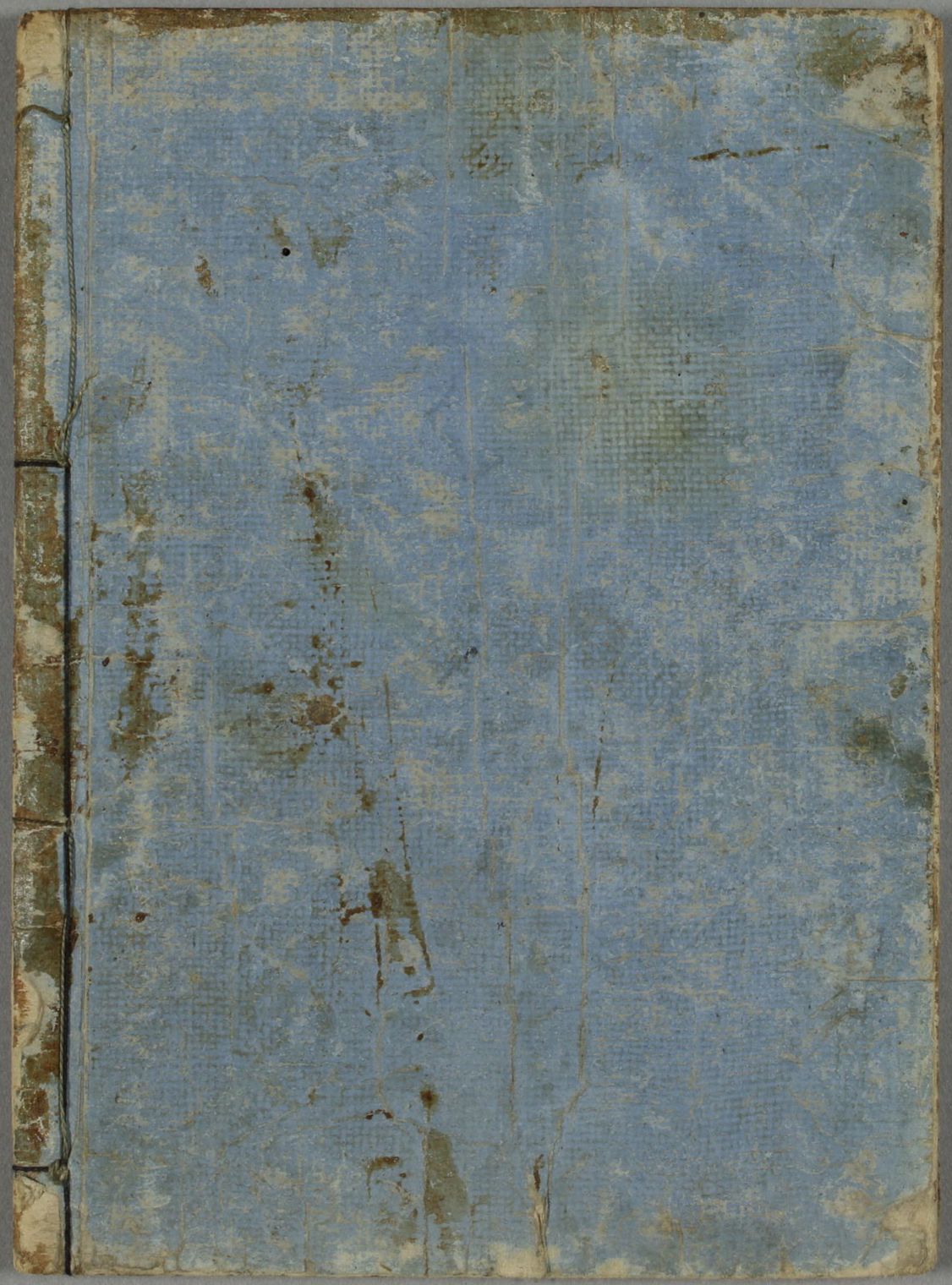
鎌倉米町
中
大海屋
源兵衛
きせ川
悪助

洞房花燭夜
宣長
田辺器書

奉納西国三十三番

おすてをもてなしきて
おのおすてめとたやくあひ
いごそうとあるひいろく
むぞくあるてもぬけつ
ふぶろふのはあるも
しらたのあるさいのてんとぬ
笹屋

半落半開臨野
岸園情園恩媚
部兒
佳木錦圖

下
二代順礼
三冊続仕出し

月琴奇縁 全五冊
俳諧歳時記 全三冊
蓑笠雨談 全三冊
古今未聞十
三女・求災懐
雙言志不
移・奮勇損軀・伸大義
剛腸・端的勝男兒
曲亭馬琴夜話
改名 月麿